

2026年3月28日(土) 小集会

	A会場(A1)	B会場(A2)	C会場(A3)	D会場(A4)	E会場(B1,2)
16:50	<p>小集会W01 緑肥生態系を活用した害虫防除の確立を目指して～緑肥すき込みによる不思議な現象～ 世話人:徳丸晋虫</p>	<p>小集会W02 昆虫-異種生物間に見られる「延長された表現型」解明への挑戦 世話人:沓掛磨也子、陰山大輔</p>	<p>小集会W03 斬新奇抜・昆虫生態学の先進的研究者から学ぶ(1)植食性昆虫編 世話人:金子修治、鈴木紀之、安田弘法</p>	<p>小集会W04 “わたしの虫”で語る生物の生きるしくみ 世話人:松田直樹、宇高寛子、後藤慎介</p>	<p>小集会W05 応用昆虫学の新しいチャレンジ:昆虫で広がる養殖業と資源リサイクルの可能性(第5回) 世話人:劉家銘、武田晃司、霜田政美</p>
18:20	<p>W01-01○村上 理都子1、徳丸 晋虫2、原田 賢2、張 新望3、佐藤 孝4 (1. 農研機構 植物防疫研究部門、2. 京都府農林水産技術センター、3. 雪印種苗株式会社、4. 秋田県立大学) 緑肥すき込みにより発生した昆虫病原系状菌の特性と培養条件の探索</p>	<p>W02-01○國生 龍平1、勝間 進1 (1. 東大院・農) バキュロウイルスはいかにしてチョウ目幼虫の行動をあやつるのか?</p>	<p>W03-01○金子 修治1、鈴木 紀之2、安田 弘法3 (1. 静岡農林専大、2. 三重大、3. 信州大) 斬新奇抜・昆虫生態学の先進的研究者から学ぶ(1)植食性昆虫編</p>	<p>W04-01○中野 晏志1 (1. 岡山理大・院・理工) “わたしの虫”エダナナフシから見る昆虫の生活史調節</p>	<p>W05-01○古賀 勇太朗1 (1. 株式会社 スーパーワーム) AIで拓くミルワーム養殖の最適餌設計 昆虫由来バイオ燃料への展開可能性</p>
	<p>W01-02○佐藤 孝1 (1. 秋田県立大学) マメ科緑肥ヘアリーベッチの特徴とチョウ目害虫軽減効果</p>	<p>W02-02石田 響子1、栗原 啓吾2、井上 真紀3、○鈴木 雅京1 (1. 東大院・新領域、2. (株)ネクスコ、3. 農工大院・農) 性決定遺伝子の多様性と雄殺し型共生細菌がマイマイガの雑種形成に及ぼす影響</p>	<p>W03-02○辻 かおる1 (1. 神戸大学理学研究科生物学科) 雌雄差と群集の関係の環境依存性</p>	<p>W04-02○大江 高穂1 (1. 宮城県農業・園芸総合研究所) 環境への適応として捉える害虫の分布拡大—宮城県におけるクモヘリカメムシの事例—</p>	<p>W05-02○武田 晃司1、藤田 弥佳1、劉 家銘1、小林 徹也1、安田 哲也1 (1. 農研機構) アメリカミズアブ幼虫によるトマト栽培残渣の資源化と有用物質生産を通じた生産コスト低減の検討</p>
		<p>W02-03○土 田 努1 (1. 富山大学 学術研究部 理学系) マダラケシツブゾウムシ周年飼育系を用いて、虫こぶ形成機構を探る</p>	<p>W03-03○大島 一正1,2,3 (1. 京都府大・院生命環境、2. 京都府大・新自然史セ、3. 京都府立植物園) 種分化を植食性昆虫から考える:寄主転換から海洋島まで</p>	<p>W04-03○沼田 英治1 (1. 京都大学) わたしの虫とは何か:ホソヘリカメムシから考える</p>	<p>W05-03○橘木 良祐1、宇野 秀郎1、柳下 智信1、岡田 龍樹2 (1. Molt、2. 京大・院 アジア・アフリカ地域研究研究科) カンボジアにおけるアメリカミズアブを用いた一気通貫ビジネスの可能性～ミズアブ養殖・淡水魚飼育・販売まで～</p>
		<p>W02-04○吉田 一貴1 (1. 農研機構・植防研) ネジレバネによる宿主ウンカの「間性化」の正体は何か?</p>			
		<p>W02-05○森山 実1 (1. 産業技術総合研究所) 卵を守る糸状菌との共生のために身も心も変えたカメムシ</p>			

2026年3月28日(土) 小集会

F会場(C1,2)	G会場(D1,2)	H会場(E1,2)	I会場(H1,2)	
<p>小集会W06 外来カミキリ最前線第2弾—とくにサビイロクワカミキリ—そしてツヤハダゴマダラカミキリー 世話人: 酒井大輝、深谷緑</p>	<p>小集会W07 昆虫免疫夜話 VIII 世話人: 芳山三喜雄、古川誠一</p>	<p>小集会W08 線虫談話会: 石橋信義先生追悼会 世話人: 吉賀豊司、酒井啓充</p>	<p>小集会W09 ワクモ・ワークショップ 世話人: 八田岳士</p>	16:50
<p>W06-01○酒井 大輝1、安齋 由香理2、深谷 緑1、太田 祐子1、松倉 君予1、岩田 隆太郎1、細谷 忠嗣1 (1. 日本大学生物資源科学部、2. 一般社団法人 外来カミキリ対策室) 侵略的外来種サビイロクワカミキリ <i>Apriona swainsoni swainsoni</i>の生態の解明 —フライトミルを用いた飛翔能力の評価—</p>	<p>W07-01○今野 浩太郎1 (1. 農研機構 生物機能利用研究部門) 昆虫の微生物に対する防御機構である囲食膜を逆手に取り昆虫を攻略する植物: 植物の防御タンパク質MLX56のユニークな構造・機能とその利用</p>	<p>W08-01○吉賀 豊司1 (1. 佐賀大学農学部) 石橋信義先生の功績を振り返って</p>	<p>W09-01○國貞 葉菜子1 (1. 一般財団法人生物科学安全研究所) ワクモの基礎生物学とRIASコロニーの確立: 研究リソースとしての有用性と展望</p>	18:20
<p>W06-02○安齋 由香理1 (1. 一般社団法人外来カミキリ対策室) サビイロクワカミキリの生態、摂食・産卵選好性—寄主転換は起こりうるか—</p>	<p>W07-02○郭 朴原1、古川 誠一1 (1. 筑波大学・生物資源科学) アワヨトウ <i>Mythimna separata</i>の細胞性免疫を制御する分子探索と解析</p>	<p>W08-02○田辺 博司1 (1. (株) エス・ディー・エス バイオテック) 事業(国内)としてのEPN ~ Report to Ishibashi Sensei~</p>	<p>W09-02○村野 多可子1 (1. 全農家衛研) 養鶏現場におけるワクモとの闘い</p>	
<p>W06-03○桐山 哲、岩田 朋文1、早瀬 裕也2 (1. 富山市科学博物館、2. 富山県中央植物園) 富山県におけるツヤハダゴマダラカミキリ <i>Anoplophora glabripennis</i>の発見 ~被害・分布、そして課題~</p>		<p>W08-03○新屋 良治1 (1. 明治大学・農学部) ネコブセンチュウにおける環境応答的性決定機構の分子基盤 — 石橋先生の問いを継承して —</p>	<p>W09-03○上野 崇寿1、古川 隼士2、八田 岳士2 (1. 大分工業高等専門学校、2. 北里大学) ワクモ防除における物理的アプローチ: 高電圧パルスと電界利用の理論と実践</p>	
		<p>W08-04○千葉 悠斗1、田中 龍聖2、新屋 良治3 (1. 佐賀大学・農、2. 宮崎大学・医、3. 明治大学・農) 線虫感染性ウイルスのカタログを作る、線虫感染性ウイルスの多様性・機能の解明に向けた基盤構築</p>		

2026年3月28日(土) 小集会

	A会場(A1)	B会場(A2)	C会場(A3)	D会場(A4)	E会場(B1,2)
18:40	<p>小集会W10 緑肥生態系を活用した害虫防除技術の確立を目指して～ここまで分かった！天敵としてのゴミムシ類！～ 世話人:安部順一郎</p>	<p>小集会W11 地域の声！果樹カメムシ類の発生の現状と今後、一防除に殺虫剤抵抗性対策は必要か～ 世話人:山本敦司</p>	<p>小集会W12 昆虫BioDX 世話人:横井翔</p>	<p>小集会W13 シン・化学生態学 一句いコミュニケーションの受容と行動発現一 世話人:塩田裕介、上原拓也</p>	<p>小集会W14 応動昆若手の会主催 若手が描くキャリアの可能性:若手研究者・起業家・YouTuberが語るリアル 世話人:片岡孝介、峰翔太郎、杉本晃一</p>
20:10	<p>W10-01○徳丸 晋虫1、光永 貴之2(1. 京都農技センター、2. 農研機構植防研) ハスモンヨトウの卵および幼虫に対する地表徘徊性昆虫の捕食能力</p>	<p>W11-01○山本 敦司1(1. 東京農大) 小集会の視点、温暖化気候での果樹カメムシ類の殺虫剤抵抗性リスク評価</p>	<p>W12-01峰 翔太郎1、畠山 正統1、木村 澄1,2、○横井 翔1(1. 農研機構・生物研、2. プラチナバイオ) バイオDXを利用した有用形質を持つミツバチの作出・系統化</p>	<p>W13-01○立石 康介1、花城 比華里2、北條 賢1、藤井 毅2(1. 関西学院大学、2. 摂南大学) 食餌依存的に変動する雌性フェロモンに対するアメリカシロヒトリ雄の受容機構の柔軟性</p>	<p>W14-01○志垣 俊介1(1. 情報研) 生物に学び、ロボットを進化させる:分野融合が切り拓く若手研究者のキャリア</p>
	<p>W10-02○國友 義博1(1. 山梨県中北農務事務所) 地表徘徊性捕食者ゴミムシ類は作物上の害虫を捕食する有望な天敵となりうるか</p>	<p>W11-02○吉田 優里1(1. 岩手県農業研究センター) 岩手県における果樹カメムシ類の発生および今後の防除対策</p>	<p>W12-02○坪田 拓也1、横井 翔1(1. 農業・食品産業技術総合研究機構) カイコ<i>w1 pnd</i>系統の全ゲノム解読</p>	<p>W13-02 ○ Olena Riabinina1(1. Durham University) Synthetic oviposition attractant and repellent of Black Soldier Flies <i>Hermetia illucens</i></p>	<p>W14-02○越水 静1(1. 国立遺伝学研究所) 花の構造色研究:やりたい研究をどのように始めるか</p>
	<p>W10-03○関根 崇行1(1. 宮城農園研) 農業生態系の多様化によるゴミムシ類の保護・強化と害虫抑制の可能性</p>	<p>W11-03○貴志 学1(1. 和歌山県果樹試験場かき・もも研究所) 和歌山県のカキ産地における果樹カメムシ類の発生状況と防除対策, これまでとこれから</p>	<p>W12-03○坊農 秀雅1,2(1. 広島大学ゲノム編集イノベーションセンター、2. 広島大学大学院統合生命科学研究科) 昆虫 BioDX によるスーパー昆虫作出に向けて</p>		<p>W14-03○熊谷 洋平1(1. 株式会社tayo) 研究者キャリア情弱問題を考えよう</p>
		<p>W11-04○柏浦 侑喜1(1. 山形農総研セ園芸研) 山形県における果樹カメムシ類の発生状況及び防除における課題</p>			<p>W14-04○蠢虫 しくじり先生 俺みたいなYoutuberになるな!</p>

2026年3月28日(土) 小集会

F会場(C1,2)	G会場(D1,2)	H会場(E1,2)	I会場(H1,2)
<p>小集会W15 モデル昆虫だけじゃない！FlyBaseで深めるオミクス解析 世話人：高田悠太</p>	<p>小集会W16 第6回 社会性昆虫研究会：行動観察から理論まで 世話人：三高雄希、田崎英佑</p>	<p>小集会W17 昆虫病原体ライブラリの課題と未来への展望 世話人：相内大吾、藤田龍介、西大海</p>	<p>18:40</p>
<p>W15-01○高田 悠太1 (1. 産総研) 全ての道はショウジョウバエに通ず -FlyBaseから展開するin silico解析-</p>	<p>W16-01○納富 祐典1、Haupt Stephan Shuichi1、土畑 重人1 (1. 東京大学) 逆境的经验が誘発するクロオオアリの生得的視覚誘導行動</p>	<p>W17-01○佐藤 大樹1 (1. 森林総合研究所) 昆虫病原菌の収集と保存そして今後の問題について</p>	<p>20:10</p>
<p>W15-02○司 悠真1 (1. 京都大学) Knowledge baseはどこから来てどこへ向かうのか</p>	<p>W16-02○中園 大博1、矢部 清隆1、野呂 拓哉1、高田 守1、松浦 健二1 (1. 京都大学) 宿主コロニーの空間環境が形づくる社会寄生性ハネカクシの繁殖と資源利用</p>	<p>W17-02○浅野 真一郎1 (1. 北海道大学・農学研究科) 北海道大学で保存している<i>Bacillus thuringiensis</i>ライブラリの課題と未来への展望</p>	
	<p>W16-03○矢部 清隆1,2、高田 守1、松浦 健二1 (1. 京都大学農学研究科、2. 京都大学プラットフォーム学卓越大学院) 進化することで悪化する：社会性昆虫における利己的形質とコロニー寿命の共進化動態</p>		